

## 2023(令和5)年度 教員養成講座報告書Ⅱ 「教採1次試験合格情報」

2023年度(前期)教員養成講座は、8月25日に終了しました。名桜生の1次試験合格者は、10人で、3年次の合格者と2自治体に合格した学生もいました。北部地域の一般の合格者は13人でした。

現在は、昨年度までの受講者で1次試験は自力で合格を勝ち取り、2次試験対策講座から参加した9人がおり、その中には、名桜の過卒生も含まれています。また、新たに今年度の2次試験対策から参加した4人も含め、計36人が2次試験に挑み、合格発表を待っている状況です。

臨時的任用教員が不足したため、今年度県教委は、1次試験合格者を増やし、次年度は2次試験不合格者の中の成績上位者は1次試験を免除することになっています。その結果今年度は、昨年度より100人以上受験者が減少したものの、昨年度より100人以上が1次試験に合格しています。そのため、2次試験の競争は激しくなり、合格が決まるまでは不安だと思われます。最終合格発表は11月の中旬から下旬頃の予定です。是非合格して欲しいと願っているところです。

表1 2023年度教科別1次試験合格者数 (※2次試験対策講座からの参加者も含む)

	中学英語	高校英語	保健体育	養護教諭	小学校	国語	音楽	計
名桜生	4		4	2				10
一般	1	1		3	19	1	1	26
計	5	1	4	5	19	1	1	36

### (2次試験対策講座開講式の受講生感想・振り返りより抜粋)

- 今回二次対策講座を申し込みましたが、一次を突破しているか微妙な点数で不安がありました。今日の先生方の話を聞いて改めて次に向けてやることがあるんだと気づきました。一次の結果がどうあれ、二次対策をすることがこれから自分にプラスになることしかないと思いました。自分が教員になるために必要なこと、強みなどをしっかり考えたいです。宜しくお願いします。
- 開講式を聞いて感じたことが二つあります。一つ目は準備を徹底することです。準備をしっかりと行い、緊張や不安を払拭し、自分の良さや課題を認識することにつなげたいです。二つ目は、自分の良さ、可能性を引き出し、理解することです。ノートに自分自身のことと県の施策と関連付けて整理します。二次試験も合格するよう一生懸命頑張りますのでご指導宜しくお願いします。
- 今日の開講式の話聞いて、感じた事は、自治体の求める教員像と現時点での自分がどれだけ合致しているのか、足りないのかを自己分析する必要があるということです。県の施策をしっかりと読み込み最近の教育に関する情報を整理して答えられるように準備したいと思います。
- 志望理由書や面接を通して、自分が改めて「教員」を目指すきっかけや熱量を再確認し、自分と向き合う時間を作れる期間だと感じた。自分の強みを長所、挫折したことなどを今までの人生で経験してきたことと向き合い、いかに良い所を面接官に伝えられるかを考えます。緊張しますが受かりたい気持ちを糧に一生懸命頑張りたいと強く思いました。面接官も人なので「一緒に働きたい」と思わせるような人材になれるよう練習します。
- 今日の開講式で面接や模擬授業などのポイントや面接の視点などを知り、緊張感を持つことができました。私は、正直面接が不安です。講師の先生方や一緒に頑張る仲間から、沢山学び、当日を迎えたいと思います。
- 面接、模擬授業の基本や自己分析の大切さについて学びました。まず私がやるべき事は、マイノートの作成だと気づきました。自分の強みは何か、どんな養護教諭を目指したいのかをじっくり見つめながら作成していきたいです。面接の質問や模擬授業は一次試験と違い、幅広く何を問われても動揺しない力が必要だと感じました。



写真 7月25日(月)2次試験対策開講式  
報告 2023(令和5)年4月20日(木)  
北部教育研修センター長 高安美智子